

“はかる”技術で未来を創る



第68期 2020年9月期  
第3四半期決算説明資料

2020年7月30日

# 目次

1. 決算ハイライト
2. 2020年9月期 連結業績予想
3. はかる技術への取り組み

# 決算ハイライト

# トピックス

## 前年同四半期比

減収・増益（純利益10.5%増）

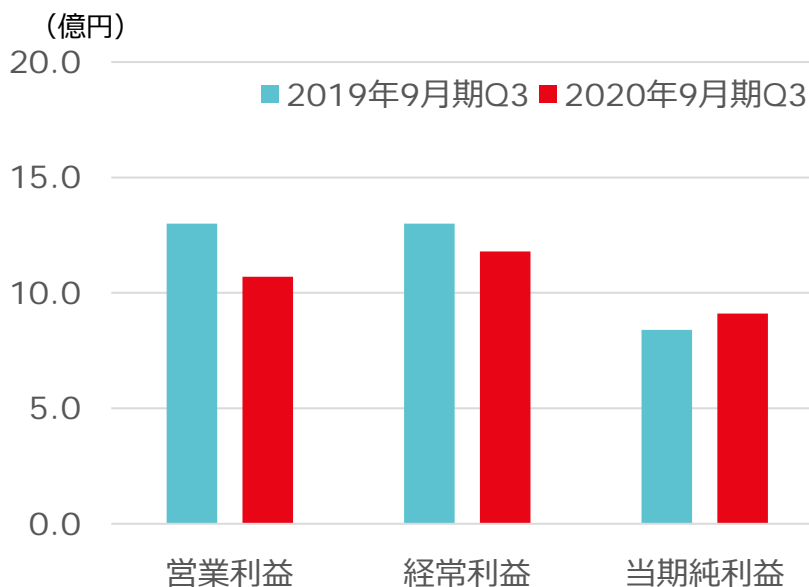
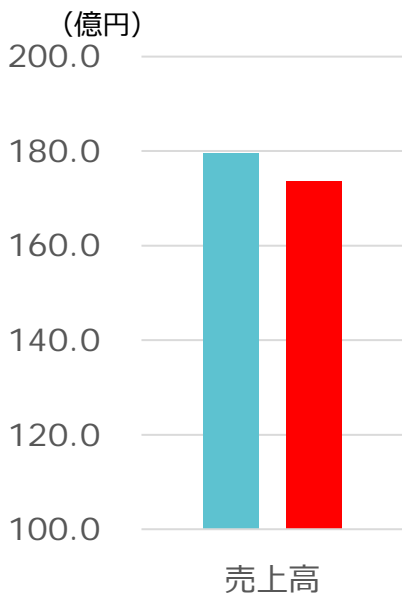
## 新型コロナウイルスによる影響

- 》国内ビジネス 活動制限による納入の遅延
- 》海外（中国・米国）ビジネス 計画値半減

## 連結通期業績予想の修正

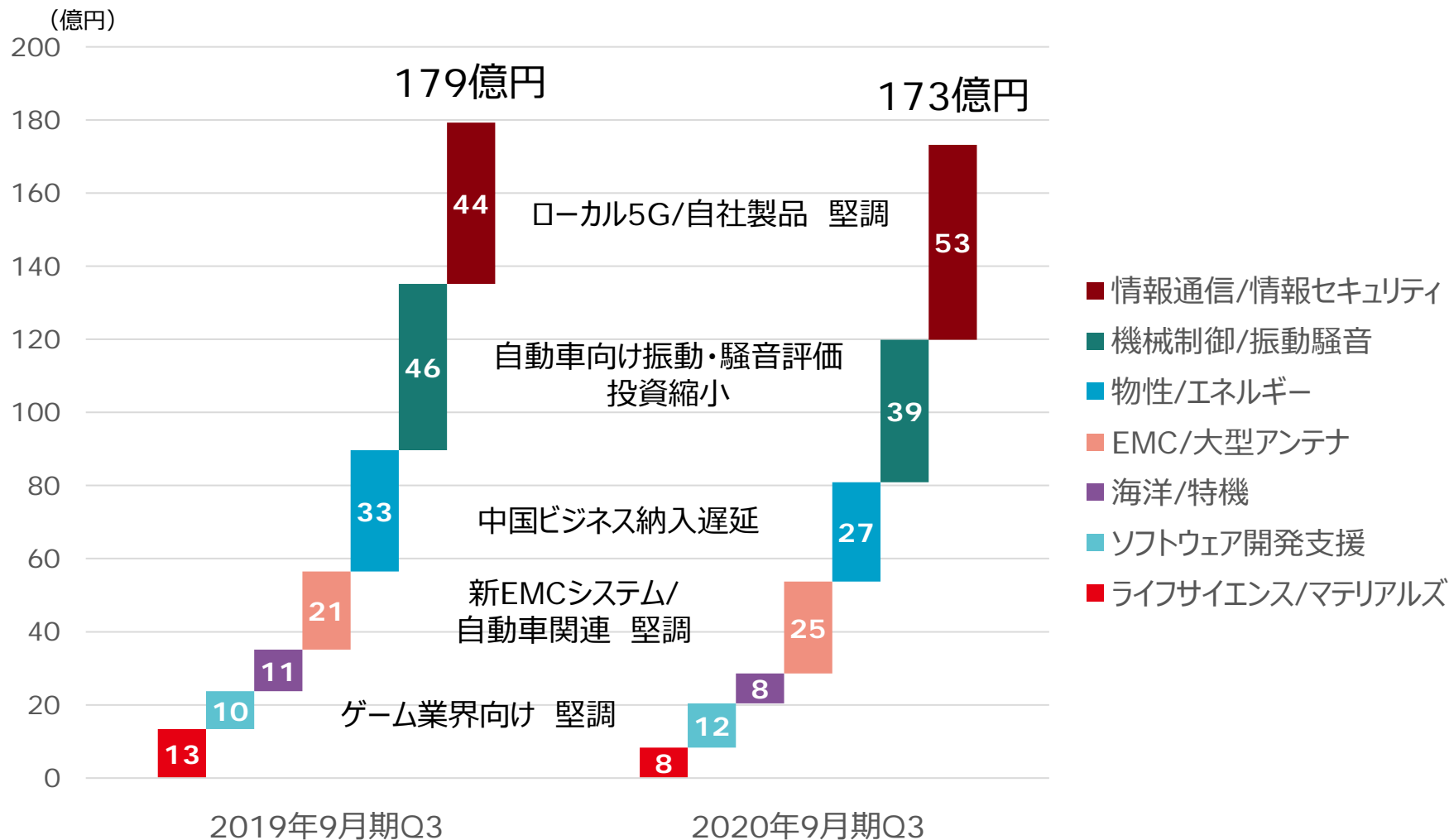
## 期末配当金 据え置き

# 業績ハイライト









	2019年 9月期Q3	2020年 9月期Q3	増減額	増減率
売上高	179.6億円	173.5億円	△6.0億円	△3.4%
営業利益	13.0億円	10.7億円	△2.2億円	△17.0%
経常利益	13.0億円	12.0億円	1.0億円	△7.3%
当期純利益	8.4億円	9.3億円	0.8億円	10.5%

# 売上高推移（セグメント別）

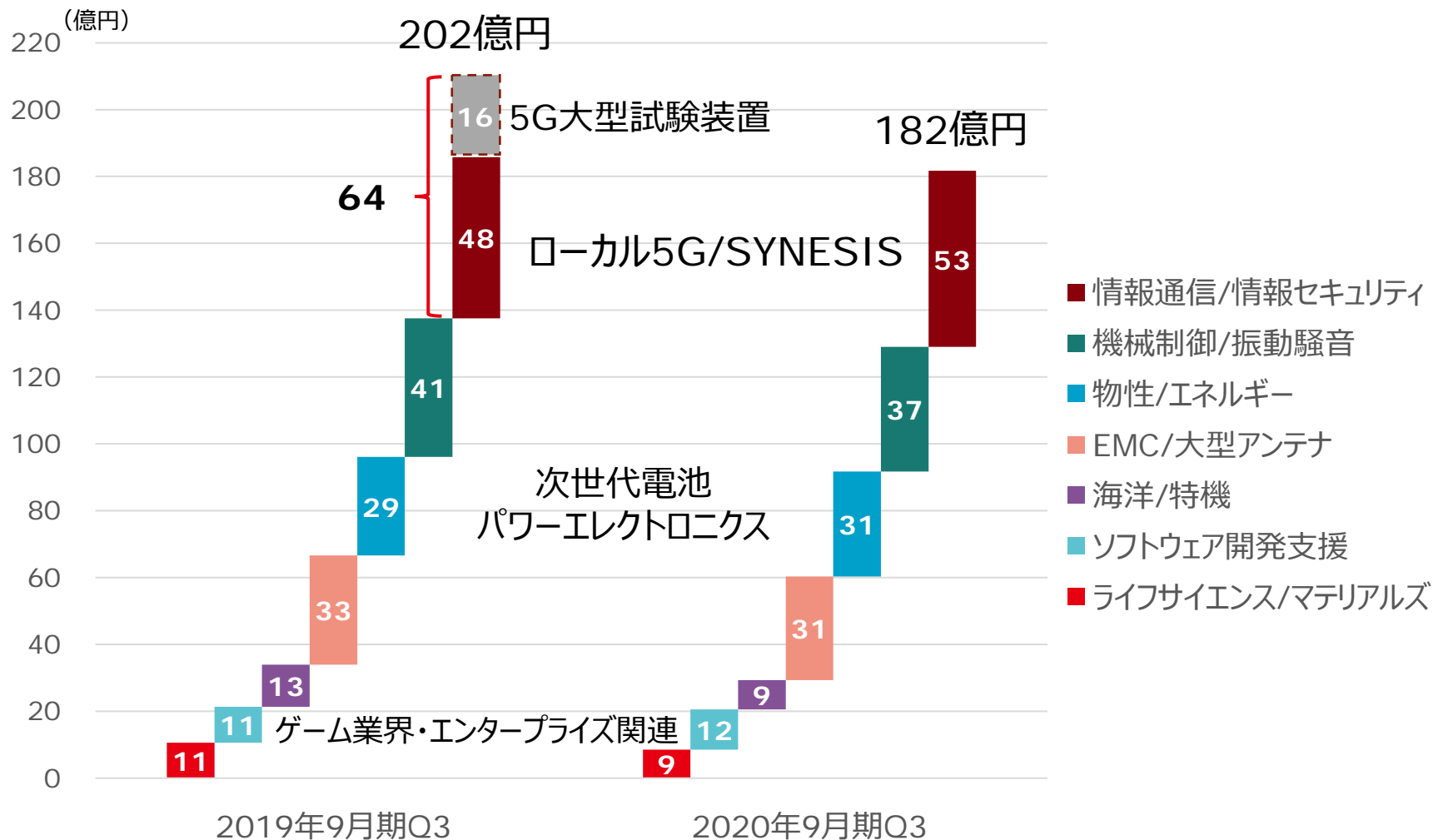


# 営業利益増減（セグメント別）

セグメント	2019年 9月期Q3	2020年 9月期Q3	増減
情報通信/情報セキュリティ	2.2億円	4.1億円	+ 1.9億円
機械制御/振動騒音	9.8億円	8.2億円	△1.6億円
物性/エネルギー	4.2億円	2.6億円	△1.6億円
EMC/大型アンテナ	△0.1億円	0.3億円	+ 0.4億円
海洋/特機	2.8億円	0.7億円	△2.2億円
ソフトウェア開発支援	1.5億円	1.8億円	+ 0.3億円
ライフサイエンス/マテリアルズ	0.6億円	△0.4億円	△1.0億円
全社費用	△8.0億円	△6.4億円	+1.6億円

-  ローカル5G/自社製品 堅調、経費削減
-  自動車向け振動・騒音 投資縮小、販売遅延
-  中国ビジネス 納入遅延
-  自動車関連EMC 堅調 商品評価損\*1)計上
-  民間企業向け販売・ 納入遅延
-  ゲーム業界向 堅調

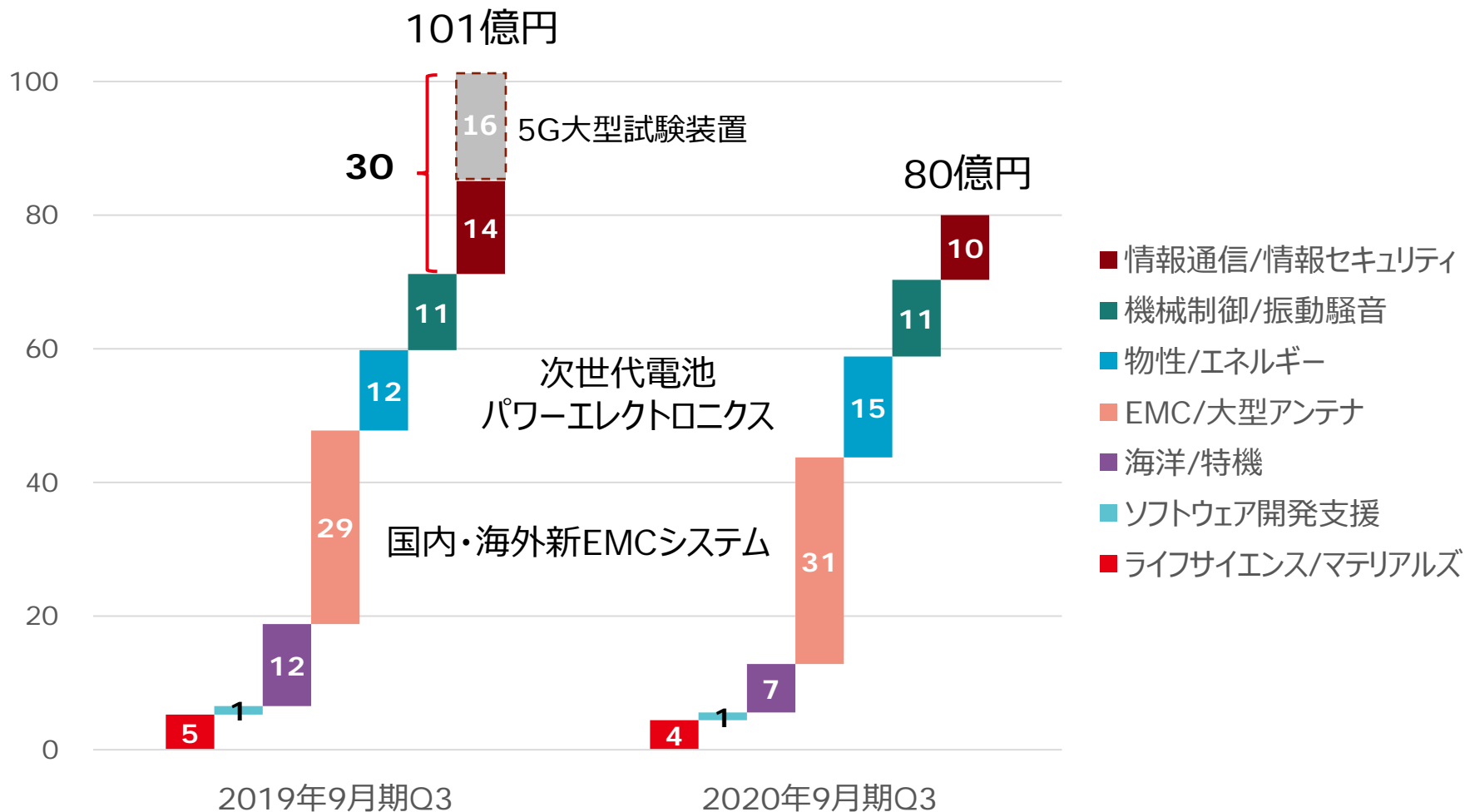
# 受注高推移 (セグメント別)



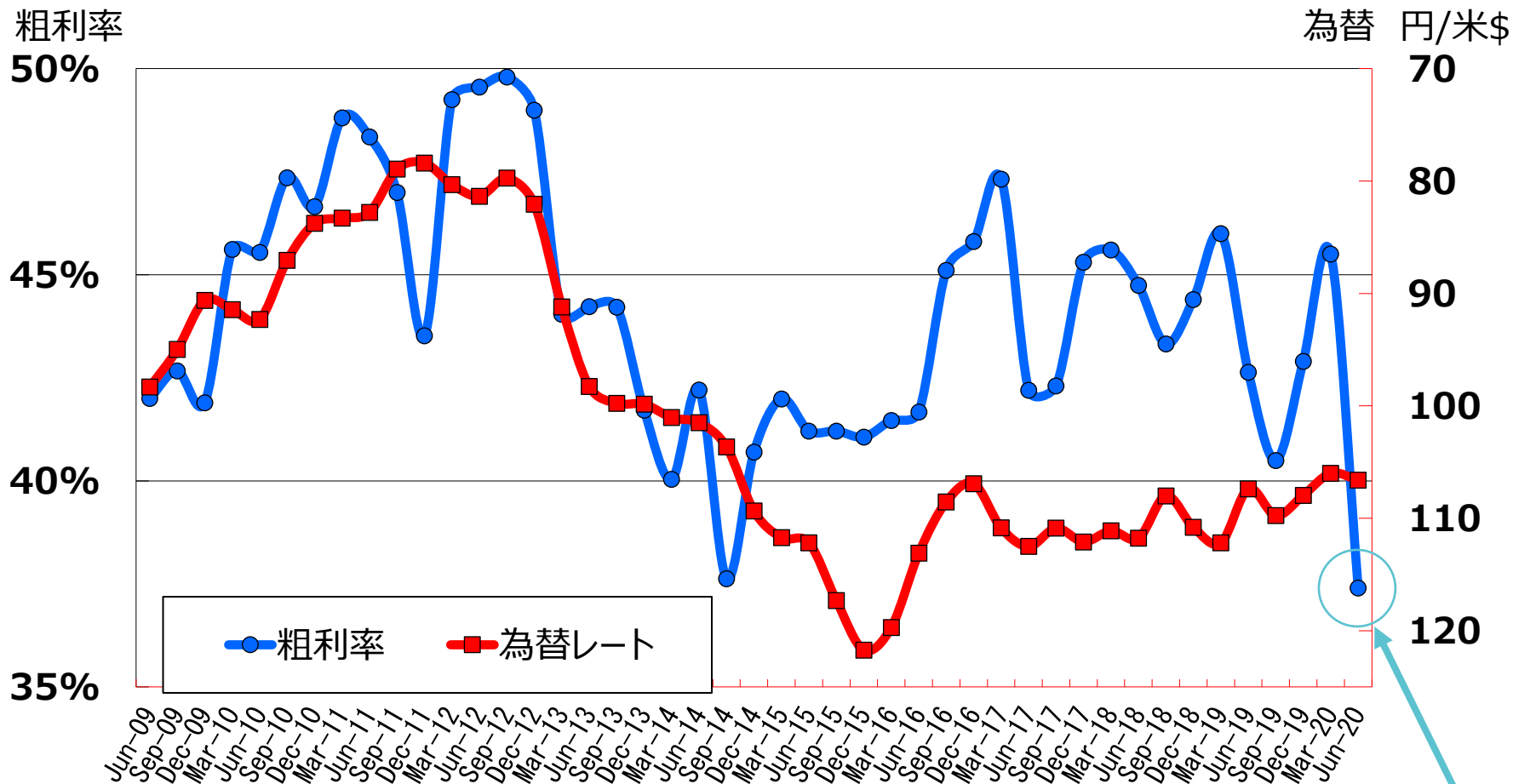


# 受注残高推移 (セグメント別)

(億円)



# 為替と粗利率



第3四半期の粗利率：37.4%  
 →主な要因 2億円の商品評価損\*1)を計上

# 商品評価損について

## 第3四半期 2億円計上を実施

\* 1) 今期に海外企業に大型システムの納入を行いました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて同社の契約履行が困難な状況であることが発覚しました。同社と協議を重ねましたが、契約金の回収は非常に難しい状況であるため、第3四半期に2億円を商品評価損として計上しました。

## 第4四半期 約2億円計上の可能性

\* 2) 当社の戦略投資として在庫を保有していた取扱いメーカーが買収されて契約解消の手続きを進めております。現在その保有在庫について、販売活動に注力すると共に、取扱いについて買収元企業と交渉をしておりますが、結果が出ない場合、第4四半期に商品評価損として最大約2億円計上する可能性があります。

# 2020年9月期 連結業績予想

# 連結業績予想の修正

第3四半期は国内ビジネスで感染拡大の影響が出てきました。第4四半期においても納入遅れや活動制限などの懸念があります。また当社戦略投資として保有していた在庫を第4四半期に商品評価損\* 2)として計上する可能性があります。一方、第1四半期に続き第4四半期において当社政策保有株の売却を予定しております。

これらの状況を含めて、2019年11月5日に公表した連結業績予想を以下のとおり修正いたします。なお、配当金につきましては公表値から据え置きます。

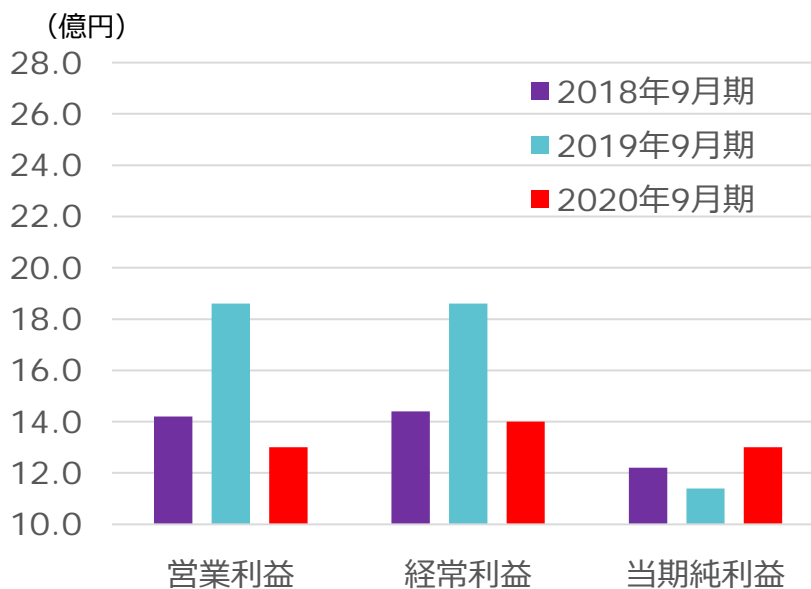
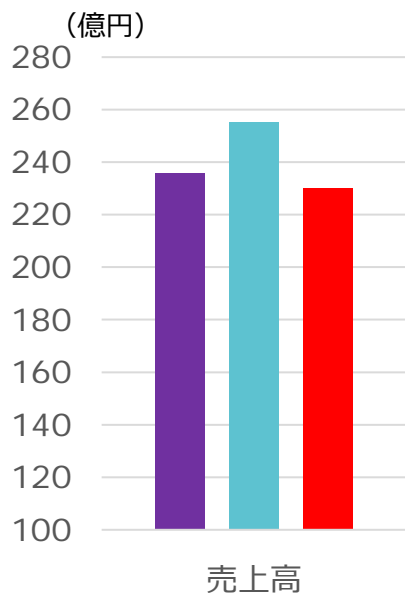
2020年9月期 連結業績予想の修正 \* ()内は2019年11月5日公表値

**売上高 230億円** (256億円)、**営業利益 13億円** (19億円)

**経常利益 14億円** (20億円)、**当期純利益 13億円** (14億円)

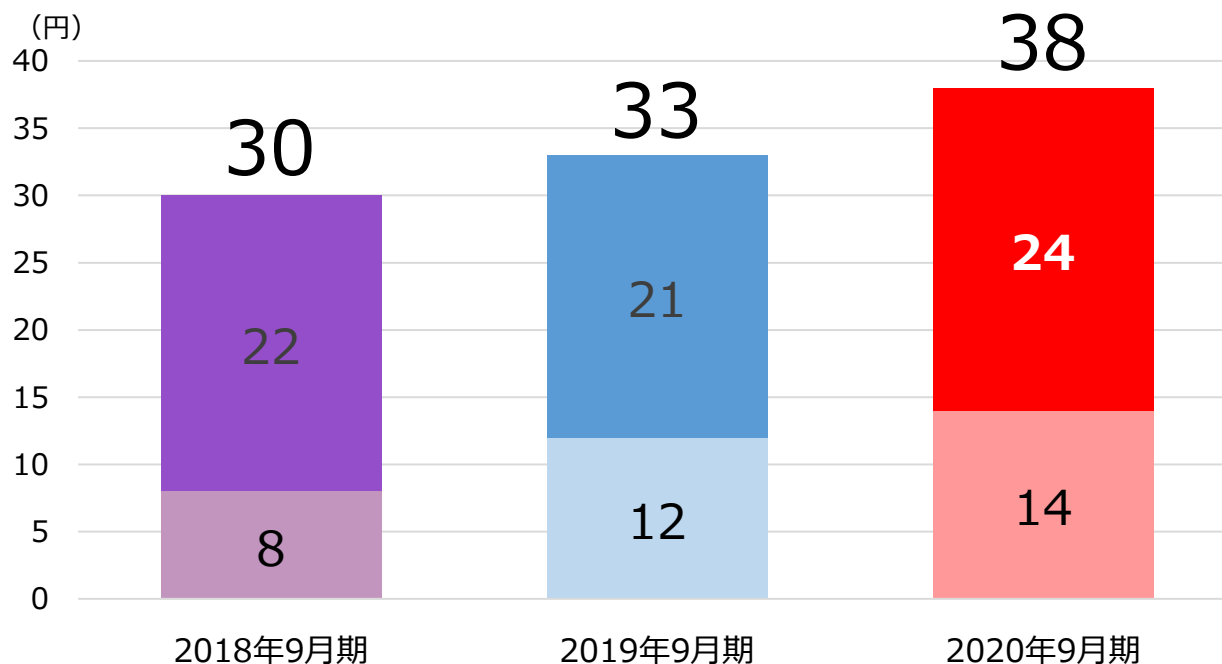
**配当金1株あたり年38円 据え置き** [うち中間配当14円は支払済み]

# 2020年9月期業績予想値（公表値修正後）



	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期
売上高	235.9億円	255.4億円	230.0億円
営業利益	14.2億円	18.6億円	13.0億円
経常利益	14.4億円	18.6億円	14.0億円
当期純利益	12.2億円	11.4億円	13.0億円

# 配当金予想 (公表値から据え置き)



(円/株)

2020年 9月期	中間	期末	年間
	14	24	38

**支払済**

# “はかる”技術への取り組み



# ローカル5Gの取組み

ローカル5G技術Webセミナーの開催、またローカル5G環境構築を検討されている企業様向け当社ソリューション特別キャンペーンなど様々な活動に取り組んでおります。

《追加募集！》【Webセミナー】ローカル5G技術最前線！  
ローカル5G技術の未来～その課題と解決策～

Webセミナー 2020年4月20日（月）

情報通信 製品・サービス 取扱メーカー ソリューション 事例紹介・技術資料 セミナー・展示会 サポート

東陽テクニカ > 情報通信 > Spirent Landslide Virtual ローカル5G スタートアップ支援キャンペーン

**vLS**  
Spirent Landslide Virtual

**ローカル5G  
スタートアップ支援  
キャンペーン**

Spirent  
Promise. Assured.

ご好評につき延長！

2020年9月末日まで

この度東陽テクニカではローカル5Gの研究開発、サービス開始をお考えのお客様向けに、ネットワーク構築・検証を支援するキャンペーンを開始します。5Gモバイルコアネットワークテスト/エミュレータ「Spirent Landslide Virtual」の特別サブスクリプションライセンスをお得にご利用いただけるチャンスをぜひご利用ください。

**キャンペーン対象**

▶ 次のような課題をお持ちのお客様におすすめです

- ローカル5Gの検証環境を構築したいが、全てのノードを揃えられないので擬似シミュレータが必要
- ローカル5G向けに製造販売する自社製品の機能/性能を検証したい
- ローカル5Gのサービスイン前に、サービスネットワークの機能/性能を検証したい

参照URL : [https://www.toyo.co.jp/ict/contents/detail/Spirent-Landslide-local5g\\_campaign\\_2020.html](https://www.toyo.co.jp/ict/contents/detail/Spirent-Landslide-local5g_campaign_2020.html)

# 自社製品SYNESIS



国内大手企業向けに大型案件の納入が完了。  
お客様のニーズに合わせて新機能を拡充し貢献してまいります。

2020年05月29日

【製品情報】 SYNESIS Ver5.0新リリースのお知らせ



「SYNESIS」の最新ソフトウェアVer 5.0をリリースいたしましたのでお知らせいたします。

5Gネットワークの通信トラブル解析に貢献するマルチインターフェース対応をはじめ、さまざまな新機能を備え、取りこぼすことのないキャプチャ機能と迅速な解析機能で、お客様のスムーズなネットワーク運用に貢献してまいります。

参照URL : [https://www.synesis.tech/product\\_info/200529/](https://www.synesis.tech/product_info/200529/)

# 自動運転/ADAS\*技術への挑戦

News Release | 自動運転 | EMC試験 | V2X

▶ 2020/06/08 更新 (発行日: 2020/05/29)

**車両EMC暗室に後付け設置可能な車載無線の通信品質  
評価のための「自動車CATR(コンパクトレンジ)ソ  
リューション」を販売開始  
スウェーデンRanLOS社と国内および中国・米国におけ  
る代理店契約を締結**

株式会社東陽テクニカ(本社:東京都中央区、代表取締役社長:五味 勝)はRanLOS AB(本社:スウェーデン、ヨーテボリ、以下RanLOS社)と国内および中国・米国での代理店契約を締結し、2020年6月1日より、自動車に搭載された無線通信機器の品質を評価するための試験ソリューション「自動車CATR<sup>※1</sup>ソリューション」の販売を開始いたします。

※1 コンパクト・アンテナ・テスト・レンジ。

遠距離通信での電波の特性を、疑似的に短距離で測定・試験することのできる装置。

参照URL:

<https://www.toyo.co.jp/solution/car/column/detail/id=30660>

\*ADAS : Advanced Driver Assistance System

自動運転/ADAS技術には、大容量・低遅延で高品質な通信が求められます。自動車業界では無線通信機能に対する試験方法がまだ確立されていません。車載の無線通信機器は単体での試験ではなく、通信機器を搭載した車両全体を対象にして試験を行う必要があります。

**当社は自動運転/ADAS技術に積極的に取り組み、  
当社付加価値あるソリューションをお客様に提案して  
参ります。**



試験セットアップイメージ(車両の前に設置されているのが「自動車CATRソリューション」)

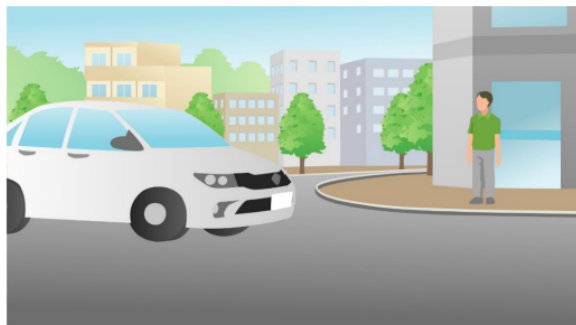
# 特許取得

## 特許①

**加速度センサーで人と車の移動軌跡から位置関係を特定する技術の特許を取得  
自動運転/ADASの研究開発への応用を想定**

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝)は、IMU<sup>※1</sup>で得られた加速度データから人間と自動車の移動軌跡を算出し、両者の位置関係を特定するための解析方法(以下、当技術)について、2020年4月8日に特許を取得しましたことをご知らせいたします。

※1 慣性計測装置。複数のセンサー素子から成る、加速度と角速度を検出する装置。



人と自動車の位置関係を特定する

発明の名称：解析方法および解析装置

特許番号：特許第6688930号

登録日：2020年4月8日

参照先：

<https://www.toyo.co.jp/solution/car/column/detail/id=30660>

## 特許②

**大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」に搭載の  
高速データ書き込み技術で米国特許を取得  
100ギガビットイーサネットのフルキャプチャを支えるコア技術**

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝)は、100ギガビットイーサネット(以下100G)でも全てのパケットをロスせず連続してキャプチャできる大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS(シネシス)」に搭載しているコア技術「データ書き込み装置及び方法」について、2020年3月に米国での特許を取得したことをお知らせいたします(米国特許番号：US 10,585,622)。

同技術は2018年9月に日本において特許を取得しており、それに続く米国での特許取得となります。これにより「SYNESIS」の世界展開を加速させると共に、今後も高速大容量化が進むネットワークにおける速やかな障害解析と、高品質ネットワークの実現に貢献してまいります。

### 【特許概要】

米国特許番号：US 10,585,622 発明の名称：「Data writing device and method」

(日本での特許：特許第6377304号 発明の名称：「データ書き込み装置及び方法」)





**大容量パケットキャプチャ/解析システム  
「SYNESIS」ポータブル型・100Gモデル**

参照URL：

[https://www.toyo.co.jp/files/user/corporate/documents/release/200727\\_synesis\\_patent\\_us\\_68043.pdf](https://www.toyo.co.jp/files/user/corporate/documents/release/200727_synesis_patent_us_68043.pdf)

# オンラインセミナー

オンラインセミナーにてお客様へタイムリーに最新の技術情報を提供しています。

自動車・産業機械などにおける機能安全対応のためのハードウェア故障率計算の勘所

Webinar (オンラインセミナー)

オンラインセミナー 2020年4月1日(水) 10:00~11:00

モバイルアプリテスト自動化支援サービス「Perfectoモバイル」のご紹介

Webinar (オンラインセミナー)

オンラインセミナー 2020年4月9日(木) 10:00~11:00

～大手SI企業様の活用事例もご紹介！～

「Web/モバイルアプリの開発プロセスに組込むセキュリティ対策」

オンライン 2020年5月15日(金)

圧電型加速度計セミナー (オンライン)

オンライン 2020年5月27日(水) から5月29日(金)

～大手SI企業様の活用事例もご紹介！～

「Web/モバイルアプリの開発プロセスに組込むセキュリティ対策」

オンライン 2020年5月27日(水)

【オンラインセミナー】円滑なテレワークのためのOffice365/VPNパフォーマンス測定手法

オンライン 2020年6月3日(水)

《追加募集！》【Webセミナー】ローカル5G技術最前線！  
ローカル5G技術の未来～その課題と解決策～

Webセミナー 2020年4月20日(月)

テレワークの壁を越えろ！クラウドに置いた実端末でモバイルアプリテストを実行する方法とは？

オンラインセミナー

オンラインセミナー 2020年6月04日(木) 10:00~11:00

オンラインセミナー「音響技術セミナー」

オンライン 2020年6月23日(火) から6月26日(金)

セキュリティを強化！脆弱性静的解析ツールを使用した脆弱性対策

オンラインセミナー 2020年5月19日(火)

オンラインセミナー「工業用振動センサ、磁歪式直線変位センサのご紹介」

オンライン 2020年5月20日(水)

その他、ユーザー向けハンズオンセミナーなど  
様々なオンラインセミナーを開催

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、本資料は、記載された目標・予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。

お問い合わせ先  
株式会社東陽テクニカ  
経営企画部  
toyo-ir@toyo.co.jp